

## 福山市環境審議会 議事概要

### 1 日 時

2009年(平成21年)12月22日(火)14:00~16:00

### 2 場 所

福山市役所 議会棟3階 第5委員会室

### 3 出席委員

尾島会長,三谷副会長,天野委員,石川委員,大田委員,大橋委員,土屋委員,  
壺井委員,土井委員,内藤委員,三吉委員,森下委員

### 4 議 題

(1) 会長,副会長の選任について

(2) (仮称)福山市汚泥再生処理センター整備事業に伴う環境影響評価に  
ついて

(3) 福山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について

(4) その他

### 5 議事要旨

会議は公開で行われ,議事概要等について公開することで了承された。

事務局より,定足数を満たしていることが確認された。

委員の互選により,会長として尾島委員が,副会長として三谷委員が選任さ  
れた。

事務局より,(仮称)福山市汚泥再生処理センター整備事業に伴う環境影  
響評価について説明がされた後,これらについて意見が出された。

事務局より,福山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定につい  
て説明がされ,概ね了承された。

(意見の概要)

(仮称)福山市汚泥再生処理センター整備事業に伴う環境影響評価について  
助燃剤の利用について(10ページ 関連)

助燃剤を西部清掃工場に運ぶ場合の予測評価はしているのか。

助燃剤の搬出車両を考慮し、大型車両 10 台を含めて検討している。

助燃剤は西部清掃工場の他にも利用先を考えているのか。

基本的には西部清掃工場での利用を考えている。なお、西部清掃工場の点検等で搬入できないような場合には、深品クリーンセンターや新市クリーンセンター等への搬入を考えている。

助燃剤化を行うこととした経緯は何か。

他の方法として考えられる堆肥化の場合には、需要先が確保できないこと、また、施設面積が大きくなること等に問題点がある。よって、需要先の確保と事業計画地の敷地で施設面積が確保できる助燃剤化を選定した。

中継施設について(14ページ 関連)

中継施設の具体的な検討はしているのか。また、その場所はどこか。

中継施設については、今後詳細に検討していく予定である。また、現時点においては、有効活用の面から既存の3施設(深品,新市,新浜)に中継施設を設置したいと考えている。

中継施設の環境影響評価はしているのか。

中継施設に関する環境影響評価は、本事業では対象外としている。今後、詳細検討を進める中で必要に応じて検討を行う。

中継施設を予定している既存の3施設の職員は、本施設に集約されるのか。今後、詳細検討を進める中で調整を図る。

中継施設から本施設までの搬入車両が必要になることで、市全体では車両台数が32台増えることとなるが影響はないのか。

中継施設までの現状の車両台数190台は変わらないため、確かに中継施設から本施設までの32台は増加することとなる。しかしながら、中継施設に集約(32台)することで、現状の190台が本施設へ直接運搬する場合より、トータルの走行距離の減少が見込め、また、CO<sub>2</sub> 負荷量の削減効果もあると考えている。

大気質について(43ページ 関連)

大気予測は、さらに緻密な予測は行わないのか。

大気予測式については、ブルーム・パフ式を用いている。これは、県の技術指針に則った予測式であり、広く一般的に用いられている方法である。

よって、本事業ではこれ以上詳細な予測は考えていない。

#### 騒音・振動について（予測対象外）

道路のアスファルト舗装の状況によって、非常に大きな騒音や振動は発生する可能性があるが、その場合の対応は考えているのか。

現状でアスファルト舗装が傷んでいる所の修復等に関しては、道路管理者との連携を図り、改善に努めたいと考えている。

#### 悪臭について（111ページ 関連）

現状で南ヶ丘緑地の臭気指数が高い傾向にあるが、その理由を把握しているのか。

臭いの原因を特定することは困難であると考えている。なお、箕島の工場からの臭いの影響が原因の一つであると考えている。

#### 水質について（6ページ、131～149ページ 関連）

放流管を800m引いて福山港（以下、内港という）に放流する理由は何か。

内港へ流すことについては、過去に経過があり、本事業においても内港へ排水する計画としている。

芦田川浄化センターの放流管に接続して排水（ケース1）と単独で排水（ケース2）の影響はどちらも同じなのか。

予測の結果、2ケースとも影響は少ないものとなる。これは、排水量が400トンと少ないことや排水濃度が小さいことから、内港への負荷量が小さくなるものと考えている。

内港の水質（COD）は、現状で環境基準を超えているが問題はないのか。

内港の水質悪化は、これまでに上流からの生活排水や工場排水等が流れてきたことにより、今の状況に至ったものと考えている。なお、本施設の排水濃度は、法的な基準と比べて厳しい値を設定しており、可能な範囲できれいな水を流す計画としている。よって、上流からの排水（新市や深品の既存処理場からの排水）がなくなり、新施設からきれいな水を流すことで全体的な負荷量の低減に繋がるものと考えている。

#### 生態系について（予測対象外）

生態系等のアメニティに関する影響はどのように考えているのか。

事業計画地は箕沖清掃工場の跡地であり、本事業により新たな土地の改変はないことから、生態系への影響の懸念はないと考えている。

福山市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について

削減目標は25%になるのでは？整合性は？

COP15については、国等の動向を見ながら策定していく。

（協議会は）市民の関心が高いものとなっている。公募市民や市民団体の意見を取り入れて頂きたい。

市民団体の代表者に入って頂きたい。公募委員は（現時点では）考えていない。

関心を高める意味でも公募を考えて頂きたい。

公衆衛生推進協議会でも、各協議会をまとめていく。できれば（この協議会に）参加したい。

以上